

青森県立十和田工業高等学校 白山 祐基

今回、「高校生による海外エネルギー事情研修会」に参加して、日本と海外のエネルギー事情をそれぞれ比較しながら知ることができました。フランスとスウェーデンを訪問し、エネルギー施設を見学や現地高校生との交流を行いました。また、両国の訪問をとおして日本とは異なる芸術的な街並みや文化施設にも触れることができ、貴重な経験ができました。

最初に訪問したフランスでは、オラノ社の再処理工場を見学しました。そこでは原子力発電所で一度使われた燃料を再処理する仕事を行っていました。また、オラノ社では、フランス国内にある別の燃料製造工場で日本の原子力発電所で使用する燃料の製造を行ったとの話も聞き、親近感が湧きました。

フランスのグリニヤール高校では、自己紹介を英語でしたり、日本や青森の文化を紹介するプレゼンテーションなどを行いました。また、エネルギーについてのプレゼンテーションをした後にディスカッションも行い、フランスのエネルギー事情などを聞きました。それらの交流の結果感じたことは、事前学習と積極的に話す姿勢が大事だということです。高校生たちとの交流会の時は、自分からは話かけることができず、じっと立っているだけでした。これから日々の生活では、積極的に発言したり取り組んだりすることを心掛けたいと思いました。

次に訪問したスウェーデンでは、環境保護先進モデル地区のロイヤルシーポートやフォルシュマルク原子力発電所と中・低レベル廃棄物貯蔵所を見学しました。原子力施設では、テロ対策や水の凍結防止対策等、風土や国情に応じた対策が必要なんだと思いました。

一番興味を持ったことは、未来を見据えた街づくりをしているロイヤルシーポートの環境への取り組みです。そこでは化石燃料を極力使わないように地熱や木質チップを利用した暖房や温水供給を行っておりました。建物の材料も環境に配慮した素材を使っておりました。また、地下のごみ処理施設や、バスの燃料をバイオガスにすることで温室効果ガスを抑制するなど、ストックホルムの街は環境面での様々な工夫がされていると感じました。

日本は現在、温室効果ガスを出す火力発電に多く頼っていますが、極力、化石燃料を使わない政策が行われているスウェーデンとは異なる状況であることを知りました。日本のエネルギーについて研修をとおして感じたことは、原子力発電を活用していく上では安全対策を徹底していくべきということです。また、再生可能エネルギーについては、より発電効率を上げるための研究にもっと力を入れるべきであると考えます。日本でもごみを適正処分したり電気自動車を増加したり、今からでも取り組めることがたくさんあると思うので、これからでもやってほしいと思います。

スウェーデンのカテドラル高校でも、フランスの高校と同様に、自己紹介、プレゼンテーション、エネルギーについてのディスカッションなどを行いました。スウェーデンの高校生はきちんと自分の意見を持っていてすごいと思いました。自分はあまり自分の意見を言えるタイプではないので、学んだことを活かして成長して行きたいと思っています。ただ、一

度フランスの高校で交流していたことから、自分なりに質問内容を変えてみるなどの工夫をしたことで、うまく交流を進めることができたところもありました。また、夕食会やショッピングで一緒に過ごしたことで、すごく友情を深められました。

帰国後も県知事への訪問や、参加者による座談会を行い、今回の研修を振り返ることができました。僕はそこで自分の収穫があったと思います。それは聞かれる質問に対する答えを自分で事前に考えていったことで、うまくは伝わらなかったかもしれません、必死に自分の気持ちを話すことができたことです。海外での研修会の期間中も同様な場面はありましたが、それらは日本でのこれまでの日常生活では味わえなかった貴重な経験でした。

今回の研修で学んだことは2つあります。1つ目は、事前にその日に訪問する見学先や、その国の言語を学んで行くことが必要だと感じました。質問する時、その見学先のことを調べておくことで、たくさん質問できたと思ったし、集中して話を聞くことができると思いました。

2つ目は、失敗しても諦めないで改善しながらやり続けることです。フランスの自己紹介の時やプレゼンテーションの時には聞いている側の反応を見ないで話していく、あまり伝わっていなかったと思いました。しかし、スウェーデンでは修正したりして反応を見ながら話すことができました。

進路を考える上で役立てたいと思って参加したこの研修で、少しエネルギーや環境について興味が湧きました。ただ、一緒に行った他の参加者より知識が少ないことにも、自分自身で気づくことができたので、もっとエネルギーについても興味をもって調べていきたいと思いました。特に、再生可能エネルギーについては、今後どれだけ伸ばせるかが鍵になってくると思うので、自分も普段から身の回りのエネルギーについて考えたいと思いました。

この研修に参加したことは一生で味わうことのできないことだと思いました。いろんな国に行ってもみて自分の駄目だった点も、逆に、通用すると思った点も知ることができたし、環境問題やエネルギーに興味を持つきっかけが得られたことが、とても良かったと思いました。学んだことをこれから学校生活に活かして、周りの人のお手本になる存在になりたいです。これからも支えてくれている周りの人達のことを忘れずに、恩返しをするつもりで日々の生活を頑張りたいと思います